

あさくち

議会だより

No.44

令和2年1月1日発行



令和元年 12月定例会

- ・ 新年のごあいさつ ②
- ・ 12月定例会 主な議案 ③
- ・ 浅口市の家計簿 決算認定 ④
- ・ 議会報告会を開催 ⑧
- ・ 市政を問う！一般質問 ⑨

新年のごあいさつ



浅口市議会議長
井上 邦男

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、令和2年の新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素より市議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は台風15号の強風によって千葉県で大規模な停電が起こり、また台風19号は関東地方や東北地方など広範囲に大雨をもたらして、河川の決壊や土砂崩れを引き起こすなど、各地で甚大な被害が発生しました。被災地の一日も早い復興をお祈りするとともに、本市におきましても、市民と行政が一体となった、防災・減災意識の高いまちづくりを推進していきたいと考えております。

さて、私たち議員は日々、お互いに切磋琢磨し、議会が自治体の最終的な意思決定機関であるということを十分に自覚しなければなりません。そして、議決したことに對しては責任を持たなければなりません。そうした意識のもとで、何が住民福祉の向上につながるかを念頭に議案審議や政策立案を行うことが第一であると考えております。今後とも、市民皆様の声を受けとめ対応してまいりますので、要望等を陳情書として提出していただきたいと思っております。安心・安全で住みよいまちづくりに向けて決意を新たにするとともに、皆様にとりまして本年が幸多き年になりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

12月定例会は、11月26日から12月12日までの17日間の会期で行われました。

12月定例会

増額補正 1億5,045万円 (第5号)
令和元年度一般会計予算の総額は153億848万円

補正予算

歳出の主なもの

区分	事業名	事業の概要	補正額
総務費	交通安全対策事業	高齢者の踏み間違えによる交通事故防止のための自動車急発進防止装置整備補助	20万円
民生費	障害者自立支援事業	障害者(児)が自立した日常生活・社会生活を営むのに必要な障害福祉サービスに係る給付	3,415万円
	障害児通所給付事業	障害児の通所(児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、障害児相談支援)に対する給付	1,838万円
消費費	災害対策事業	災害に強いまちづくり推進のため、地域が自主的に運営する登録避難所環境整備への補助金交付等の取り組み	122万円

※1万円未満を切り捨てて表記しています。

歳入の主なものは、国庫負担金3,030万円などです。

主な議案

条例

○会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定

【原案可決】

令和2年4月1日からの会計年度任用職員制度の施行にあたり、会計年度任用職員の給与及び費用弁償の支給に關し、必要な事項を定める条例を制定するもの。

○特定用途制限地域内における建築物等の制限に関する条例制定

【原案可決】

金光地域の線引きの廃止後に指定する特定用途制限地域内の建築物等の用途の制限に關し、必要な事項を定める条例を制定するもの。

○地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

【原案可決】

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例の一部を改正するもの。

○特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正

【原案可決】

一般職の職員の一時金を引き上げる人事院勧告を受け、条例の一部を改正するもの。(一時金の支給月数を0.05月引き上げ、4月とするもの)

○一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

【原案可決】

人事院勧告を受け、条例の一部を改正するもの。(給料表の改定及び一時金の支給月数を0.05月引き上げ、4月とするもの等)

○廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

【原案可決】

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

○地区計画等の案の作成手続に関する条例の一部改正

【原案可決】

都市計画法に基づく地区計画等の申出制度を導入するため、条例の一部を改正するもの。

請願

○国民健康保険の子どもにかかる均等割保険料(税)減免措置の導入を求め、国への意見書の提出について

【継続審査】

提出者 岡山県社会保障推進協議会
紹介議員 沖原有美

本請願については慎重に審査する必要があるため継続審査としました。

○看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願

【継続審査】

提出者 岡山県医療労働組合連合会
紹介議員 沖原有美

本請願については慎重に審査する必要があるため継続審査としました。

○介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願

【継続審査】

提出者 岡山県医療労働組合連合会
紹介議員 沖原有美

本請願については慎重に審査する必要があるため継続審査としました。

陳情

○会計年度任用職員制度施行に伴う公務公共サービスの拡充と自治体臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める陳情書

【不採択】

提出者 自治労連岡山県本部

用語解説

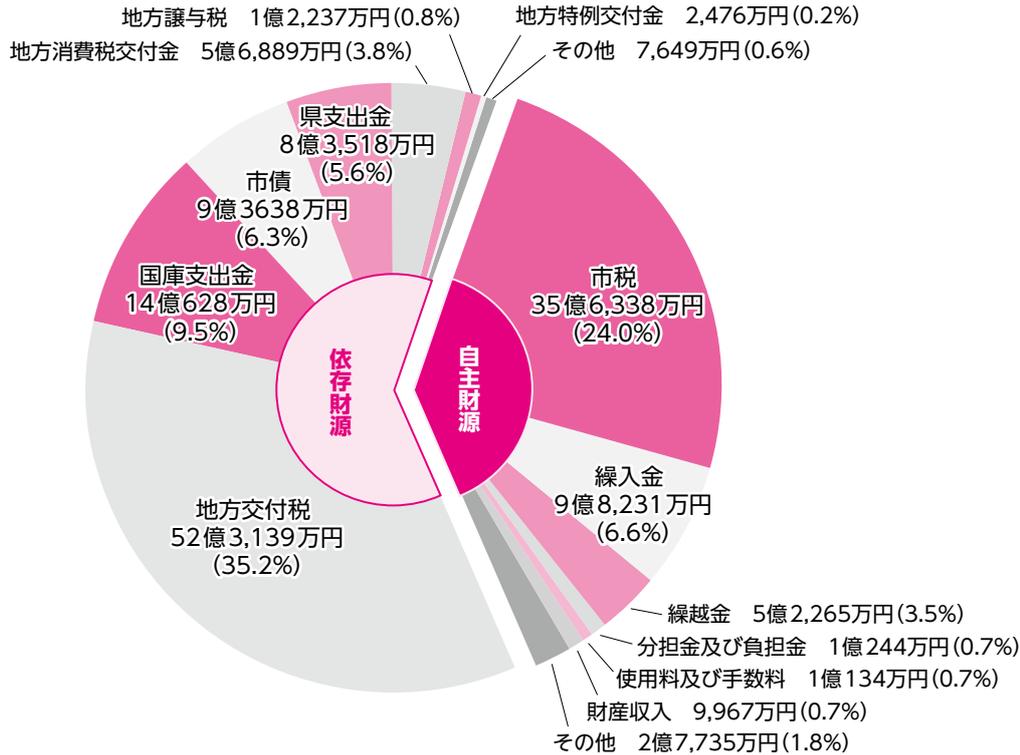
請願…請願権は憲法で保障された基本的権利で、住民が地方自治体に対して一定の要望をすること。請願の提出には議員の紹介を必要とする。

陳情…特定の事項について住民が実情を訴えて、地方自治体に対し適切な措置を要望すること。請願とは異なり、議員の紹介を必要としない。

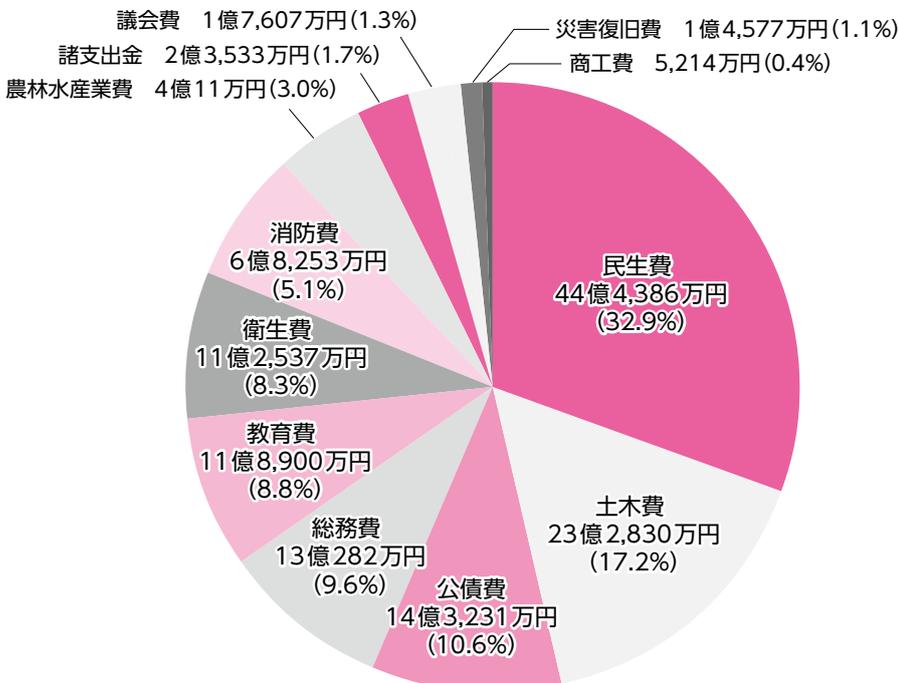
一般会計決算を認定

(金額は1万円未満を切り捨てています。)

歳入 148億5,096万円



歳出 135億1,368万円



9月定例会に上程された平成30年度決算の認定議案10件については、閉会中に各常任委員会で慎重に審査し、12月定例会初日にすべての決算を認定しました。
 なお、実質収支額は一般会計では11億5,646万円の黒字となりました。(そのうち5億8,000万円を基金に繰り入れます。)

浅口市の家計簿 平成30年度

市民一人あたりの使いみち

年間 約392,840円

民生費

129,182円



子ども・高齢者・障害者などへの福祉充実に

土木費

67,683円



公共施設（道路・河川・公園など）の建設や維持管理に

公債費

41,637円



市債（借入金）の返済に

総務費

37,873円



市役所の維持管理、戸籍・徴税・選挙・監査などに

教育費

34,564円



幼稚園・小中学校や社会教育などの教育関係費に

衛生費

32,714円



健康診断、予防接種や環境保全やごみ・し尿処理に

消防費

19,841円



消防・救急活動や防災に

農林水産業費

11,631円



水路や農道・漁港の管理など、農業・漁業などの振興に

議会費

5,119円



議会の運営に

商工費

1,516円



産業振興や観光事業に

その他

11,079円



基金費など

※小数点第1位を四捨五入しています。

人口/34,400人
(平成31年3月末日)

平成30年度 特別会計・企業会計決算額

(金額は1万円未満切り捨てのため差し引き額が一致していません)

区 分		歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
特 別 会 計	国民健康保険	44億4,952万円	38億7,697万円	5億7,254万円
	後期高齢者医療	5億5,957万円	5億5,953万円	3万円
	住宅新築資金等貸付事業	381万円	215万円	165万円
	介護保険	37億9,267万円	35億8,589万円	2億678万円
	公共下水道事業	18億9,370万円	18億6,609万円	2,760万円
	畑地かんがい給水事業	1,132万円	728万円	403万円
	益坂財産区	593万円	509万円	84万円
	工業団地開発事業	9,295万円	3,726万円	5,568万円
水道事業会計		8億9,411万円	8億8,396万円	1,014万円

※歳入歳出差引額には、翌年度へ繰り越すべき財源が含まれています。
 ※水道事業会計は積立金(利益剰余金)を取り崩し、繰り入れています。

情報満載

ホームページをご覧ください!

浅口市議会では、議会の内容を多くの方にお知らせするため、ホームページを設けています。
 ホームページでは、議員の紹介、本会議と委員会の開催日程などの議会情報や、これまで発行している議会だよりのバックナンバーも掲載しています。
 また、本会議の会議録も掲載しており、一般質問や議案の審議内容もご覧いただけます。



本会議の会議録もご覧になれます。

議案に対する賛否

本定例会で審議した議案に対する各議員の賛否は次のとおりです。

「○」賛成、「×」賛成でない、「-」不参加、「欠」欠席

議案名		会派名		浅口朋進会						日本共産党 浅口市議員団	政和会		無会派					議決結果
		議員名	中西 美治	大西 洋平	伊 澤 誠	藤 井 立 子	石 井 由 紀 子	山 下 周 吾	桑 野 和 夫	沖 原 有 美	井 上 邦 男 (議長)	藤 澤 健	香 取 良 勝	大 西 恒 夫	青 木 光 朗	竹 本 幸 久	佐 藤 正 人	
認定第1号	平成30年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認 定
認定第2号	平成30年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認 定
認定第3号	平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認 定
認定第4号	平成30年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認 定
認定第5号	平成30年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認 定
認定第6号	平成30年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認 定
認定第7号	平成30年度畑地かんがい給水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認 定
認定第8号	平成30年度益坂財産区特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認 定
認定第9号	平成30年度工業団地開発事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認 定
認定第10号	平成30年度水道事業会計積立金の処分及び決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決及び認定
承認第11号	専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	承 認
承認第12号	専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	承 認
承認第13号	専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	承 認
承認第14号	専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	承 認
承認第15号	専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	承 認
議案第58号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第59号	特定用途制限地域内における建築物等の制限に関する条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第60号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第61号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第62号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第63号	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第64号	地区計画等の案の作成手続に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第65号	令和元年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第66号	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第67号	令和元年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第68号	令和元年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第69号	令和元年度工業団地開発事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第70号	令和元年度水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
議案第71号	印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
陳情第5号	会計年度任用職員制度施行に伴う公務公共サービスの拡充と自治体臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	欠	×	×	不採択

※議長は採決に加わりません。

市民と意見交換 令和元年度 議会報告会を開催

11月16日(土) 13:30 ~ 浅口市健康福祉センター 2階



土山希美枝氏による基調講演



佐藤正人 藤井立子 石井由紀子 横山達士 山下周吾
井上邦男 伊澤誠 大西恒夫 中西美治 桑野和夫 冲原有美

議会基本条例に基づき、市民の皆様と意見交換を行うため、議会報告会を開催しました。

本年度は、龍谷大学政策学部教授の土山希美枝先生をお迎えし「議会に何が求められ、市民はどう関わっていけばいいのか」と題してご講演をいただきました。また、議員と参加者との意見交換では、グループ討議として「どんな議会になってほしいですか」とのテーマで活発な意見が交わされました。

皆さまからいただいたご意見は、今後の議会審査の参考にするなど議会活動に活かしてまいります。

- テーマ**
どんな議会になってほしいですか
- グループ意見**
- 二元代表制としての両輪の機能発揮
 - 発言と議員提案を多く
 - 議員間討議を積極的にしていく
 - 議員と市民の話し合いの場を多く
 - 市民と議会のコミュニケーションを深め近づけること
 - 行政提案に対し、議会からも提案
 - 無駄のない行政の遂行
 - インターネット配信で開かれた議会にチャレンジ
 - 議会基本条例はどうなったか
 - 地区の代表者との意見交換を持つ
 - 防災に対する意識を高める



グループによる活発な意見交換

令和元年度 議会報告会アンケート結果

年齢	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
	0	0	0	0	0	2	8	3	8
問1 報告内容について			分かりやすい 8	どちらともいえない 4	分かりにくい 0				無回答 9
問2 講演の内容について			分かりやすい 12	どちらともいえない 1	分かりにくい 0				無回答 8
問3 今回の「議会報告会」について			良かった 10	どちらともいえない 2	良くなかった 1				無回答 8
問4 報告会の時間について(講演を含む)			ちょうど良い 10	長い 1	短い 2				無回答 8
問5 次回の「議会報告会」に参加したいと思いますか			参加したい 9	分からない 3	参加したくない 1				無回答 8

※無回答はアンケート未提出者を含む

- 参加者の声**
- 議会と市民との関係がよく分かった
 - 議会不要論の根拠がよく分かった
 - 参加者が少ない。もっと広報を
 - 初めて聞く内容だった。知識の入口が見えた程度
 - 議員には、更に提案と監査を。提案は市民からほしい
 - 若い人も積極的に参加してほしい

一般質問 市政を問う!

12月定例会では、8人の議員が一般質問で市政を質しました。

質問者	質問項目	ページ
香取良勝	○浅口工業団地「明星産商株式会社」について ○笠岡放送について	10
山下周吾	○水道事業について ○災害時の他市町村への協力について	10
佐藤正人	○新基準による防災重点ため池について ○災害時に備えてのマンホールトイレの設置について	11
大西恒夫	○水道事業運営の広域化等について ○今年の台風15号・19号による災害に関して ○国道2号バイパスの鴨方、里庄のハーフィンターチェンジについて	11
藤澤健	○耕作放棄地対策について	12
桑野和夫	○浅口市の防災対策の現状について ○地域おこし協力隊について ○寄島に計画されようとしている人工芝多目的グラウンドについて	12
石井由紀子	○浅口市に在住している外国人について ○浅口市の有害鳥獣対策について	13
沖原有美	○加齢性難聴者の補聴器購入の助成について ○防災減災のまちづくりについて ○20歳から39歳の女性の一般健診の助成について	13

寄支所 … 寄島総合支所長

金支所 … 金光総合支所長

会計 … 会計管理者

上下水 … 上下水道部長

産建 … 産業建設部長

健福 … 健康福祉部長

生環 … 生活環境部長

教育次 … 教育次長

企財 … 企画財政部長

理事 … 理事

教育長 … 教育長

副市長 … 副市長

市長 … 市長

答弁者

企財

問

**注
釈**



香取 良勝

質問項目

- 浅口工業団地「明星産商株式会社」について
- 笠岡放送について

浅口工業団地「明星産商株式会社」について

問 市民からの要望であった浅口市民をまず最初に雇用するとの約束は守られているのか。前副市長との話では、市民を一番に30名はすぐ採用するという約束をしていた。

産建 新規雇用は47名で市内の方が約半数の23名程度。

問 外国人が9名、それとハローワークから14名で、市民は誰も採用していないと聞く。外国人研修生は人材の不足を補うことが目的だったはずだが、市民を受け入れる前に外国人を採用し、不足人材分を市民で賄うのはおかしい。明星産商の部長が言われるには「浅口市から何も言ってきていない。今後は市報へ出したり、市と協力しようと思っっている」とのこと。今後、浅口市はこの雇用をどのようにしていくのか。浅口市民を重点的、優先的に採用していただきたい。

市長

市民の雇用促進を図るべく、毎年あさくち就職フェアを開催している。引き続き立地企業には市民の雇用を最優先していただけるよう、お願いしていく。

笠岡放送について

問 金光ケーブルを売却した時の金額はどこに入っておりどう使われたか。

企財 浅口市全域を対象とした地域振興に役立てる目的のまちづくり基金に積み立てている。

問

地域に合った公平性がある、市民のためになる放映をしてほしい。市民の要望に合わせた繰り返し放送もしていただきたい。

市長

市民のから不満の声が出ないよう、公平にしていきたい。と理解しているが、これからの意に沿うよう笠岡放送ともしっかりと話をしていく。



山下 周吾

質問項目

- 水道事業について
- 災害時の他市町村への協力について

水道事業について

問 老朽化した水道管が問題になっている。浅口市の現状と今後の見通しは。

上下水 水道事業を始めて48年ほど過ぎた。浅口市は水道管の25%の老朽化が進み今後ピークを迎えると考えている。令和元年10月に施行された水道法に伴い順次対応していく。

問

工業団地2期工事に伴い水道計画はどうするのか。

上下水 エリアが鴨方と金光の境になっているため、工事の整備状況を見て合理的な給水計画を立てる。

問

災害時断水が発生した場合の対応は。

上下水 給水タンク等での応急給水を行う。また、浅口市管工業協同組合と災害対策業務実施に関する協定を締結している。給水や復旧の支援協力要請を行う作業の迅速化を図る。

問

市内の断水時の対応と他市町村へ応急給水の応援を考慮して給水車を持つておいてはどうか。

上下水 被災した際、迅速かつ円滑に応急給水が見込まれるが緊急時以外には利用がなく、使用するためには定期的な更新や維持管理が必要になる。浅口市には給水タンクがあり安定した供給が可能と考えている。現時点で購入は考えていない。

災害時の他市町村への対応について

問 他市町村への協力は何を行ったか。今後どのような対応をしていくのか。

企財 業務としては発災直後の罹災証明発行のための家屋調査、証明書発行業務、避難所運営支援をした。

市長

国や県レベルでの整備されている応援体制に基づき可能な限り応援をしていく。積極的な職員の派遣を今後も続けていきたい。



佐藤 正人

質問項目

- 新基準による防災重点ため池について
- 災害時に備えてのマンホールトイレの設置について

新基準による 防災重点ため池について

問 防災重点ため池の基準は。

産建 大きい基準は決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害があるため池。具体的には4つの基準がある。

問 浅口市には現在いくつ指定されているか。

産建 金光41、鴨方48、寄島7の96の池が該当している。

問 今後、ハザードマップ等に明記されるのか。また、市民への周知徹底は。

産建 これまでのハザードマップに追記すると情報量が多く見にくくなるので、別途ため池のハザードマップを作成する。浸水想定区域図として、ため池が決壊した場合、どの地区がどれくらい浸水するか、どの方向に逃げるかや避難場所も記載する。市のホームページと関係ため池の下流の地区住民の方へマップを配付して周知していく。

災害時に備えてのマンホール トイレの設置について

問 マンホールトイレの利便性の認識と国・県内の設置状況は。

上下水 仮設トイレは搬入に時間が掛かるが、これは既設のマンホールに設置するため時間が掛からず汲み取りも必要ないと認識。

平成29年度末で全国では約3万基、県内では約300基。

問 浅口市において学校・避難施設への設置の必要性は。

企財 衛生面のメリットはあるが下水管に接続するための管を敷設する必要があり、汚物を処理する水の確保も必要になる。地震で下水管が破損すると使えないことがある。時間や多額の費用を要するため早急な設置は難しい。簡易トイレ、簡易トイレ用テントなどを計画的に配備していきたい。



大西 恒夫

質問項目

- 水道事業運営の広域化等について
- 今年の台風15号・19号による災害に関して
- 国道2号バイパスの鴨方、里庄のハーフインターチェンジについて

水道事業運営の広域化について

問 岡山県西南水道企業団に2市1町(笠岡市・浅口市・里庄町)が水道事業を合併して運営をした時のメリットはいくらになるかを計算してもらえないか。

上下水 組織、料金体系等さまざまなものが各市町で異なるため、合併して運営するとした場合、関係市町との協議や調整が必要となる。この算定を浅口市だけで行うことはできない。

問 市の一般会計から水道事業会計への補助金について。

上下水 改定前の差額分については平成29年度以降、繰り入れていないが、平成31年1月から新たに原水が倉敷市全体で上がった。倉敷からの分水料金の改定分のみとして2629万円を一般会計から繰り入れている。

今年の台風15号・19号による災害に関して

問 浅口市の新たな対策は。

産建 昨年の7月豪雨災害を受けての復旧工事、内排水対策としての仮設ポンプの設置等の対応を行っている。鴨方駅前付近で里見川の氾濫の危険が生じたことを受け、河川管理者である県へ改修の要望をしている。今年の台風15号・19号を受けての新たな対策としてのハード的なものは市で具体的なものはない。

国道2号バイパスの鴨方、里庄のハーフインターチェンジについて

問 地域発展のために里庄町との協議をしているか。

産建 大規模な開発が起こるのであれば、隣接する里庄との協議も必要になる。個別の小規模な開発案件についてはそれぞれの市町での判断になるため現在、協議は行っていない。



藤澤 健

質問項目

- 耕作放棄地対策について

耕作放棄地対策について

問 今の日本は高齢化、人口減少、都会への一極集中が進み地方での農業の担い手不足による耕作放棄地の増加が大きな問題となっている。一方、世界に目を向ければ東南アジア、インド、中近東、アフリカ諸国などで驚異的な人口増加が進んでいる。こうした状況から地球上では近い将来、必ず食糧難による争いが起きると言われている。

日本は食料の自給率が低く約60%を輸入で賄っているが近隣諸国との関係等、今後の国際状況を見ると日本だけが今のよう安定した輸入が続くとは考えにくい。そのためにも早急に食料自給率の向上を図る必要があると考える。

今の浅口市の耕作放棄地の状況および解消への対策は。

産建 耕作放棄地は農業従事者の高齢化や農産物の価格低迷化による農業離れなど、特に中山間地域で増加傾向が強い。

対策としては、農業委員会において農地パトロールによる指導、助言や農地利用最適化推進委員による農地の貸出、借入の仲介等を行っている。また、農地取得条件も15アールから10アールに緩和していく予定である。

問 浅口市の農家への支援策は。また、市が中心となって農業法人を立ち上げてはどうか。

産建 農協を通じた各種生産部会への補助金や桃の新改植補助金、中山間地域への助成、就業奨励金の支給等を行っている。

市長 本市では、耕作放棄地解消対策の新しい取組みとして、みどりヶ丘地区や須恵地区で黒にんじくの栽培・加工を行っている。また、寄島地区では地域団体と連携してアボカドやレモンの実験栽培も行っており、今後も様々な取り組みを行っていききたい。農業法人については、今後よく勉強していきたいと考えている。



桑野 和夫

質問項目

- 地域おこし協力隊について
- 寄島に計画されようとしている人工芝多目的グラウンドについて

地域おこし協力隊について

問 現在浅口での地域おこし協力隊員は1名。来年5月までに誰もいなくなる可能性があると思いますが、今後の隊員の確保は。

企財 現在、農業振興・移住定住に係る地域おこし協力隊員を2名募集している。全国的に応募者は減少傾向で、問い合わせはあっても応募に至らない。今後は協力隊のみならず地域支援員の制度も活用していきたい。

問 隊員確保のためには賃金を含めて待遇改善も必要。市で報酬の上積みをして隊員数を確保しは。

企財 国の特別交付税をベースに最初は200万円。年毎に報酬を上げている。

市長 定住して起業した隊員もいる。今後も地域力向上を図っていくため、地域の課題を汲み上げながら協力隊や地域支援員等の制度を活用していく。

寄島に計画されようとしている人工芝多目的グラウンドについて

問 当初の計画から現在までの経緯は。

教育次 プロジェクトチームで計6回の協議を行い、三ツ山スポーツ公園に整備する方針だったが、廃棄物処理法指定区域のため、B&Gグラウンドを候補地に加えて再検討している。

問 財政が厳しいと言われているが、今は人工芝グラウンドにお金を使うよりも市民の防災や福祉などに予算をつけることが大事だと思うが。

市長 玉島笠岡道路により寄島地域の利便性は格段に向上している中、人工芝グラウンドを整備することは人口交流の増加、過疎化が進む寄島地域の活性化につながる。競技やレクリエーションスポーツで市民交流・世代間交流を図っていききたい。



石井由紀子

質問項目

- 浅口市に在住している外国人について
- 浅口市の有害鳥獣対策について

浅口市に在住している外国人について

問 把握している人数と世帯数の推移は。

生環 令和元年10月で257人、世帯数は242世帯。国別では、ベトナム・中国・カンボジアの順で多く、人数及び世帯数ともに増加傾向である。5年間で人数は136人増。

問 外国人の就労者、定住者の見通しは。

生環 就労目的の外国人は企業内転勤や、技能実習、教育などの在留資格を有する方で174人。5年前と比べて123人増。国では2倍になっており、今後増えていくと見込まれる。また、定住者も今後増えていくと予想する。

問 外国人対応の今後の予定は。

生環 新たな在留資格が創設された出入国管理及び難民認定法の改正を受けて外国人は増える

と予想。不安を解消すべく、外国人に対する地域の理解や困ったときの情報提供に努める。

市長 外国人の生活環境の整備は大変重要であると認識している。先進事例も参考にしながら積極的に対応していく。

浅口市の有害鳥獣対策について

問 狩猟免許取得費補助金交付要綱制定後の登録者数は。

産建 全体で67名、うち年間を通して活動のできる登録者は47名、補助金を受けて免許取得された方は駆除活動に従事している。ただいている。

問 イノシシの捕獲頭数の推移と今後の対策は。

産建 平成30年度は347頭。今年度は前年度対比で1.7倍。

市長 イノシシ対策は、一定の成果が出ていると考えている。今後捕獲と防護対策に努め、山陽高校と協力し官民一体となって進めていく。



沖原 有美

質問項目

- 加齢性難聴者の補聴器購入の助成について
- 防災減災のまちづくりについて
- 20歳から39歳の女性の一般健診の助成について

加齢性難聴者の補聴器購入の助成について

問 高齢者の引きこもりの要因の一つに「聴力の低下」があると言われているが、市はどう考えているか。

健福 難聴はうつ病や認知症の危険因子にもなる。75歳以上の実態把握調査で、80歳を超えると社会との交流や外出の頻度が減っており、聴力の低下も要因の一つに含まれていると考えている。

問 加齢性難聴者に補聴器購入の助成としては。

健福 高度・重度の難聴者が購入する際、原則1割を自己負担し9割を国・県・市が補助金を支給している。市が独自に実施することは考えていない。

市長 公的補助制度の創設を国に要望していく。

防災減災のまちづくりについて

問 台風による倒木で、道路や電

気などのライフラインに影響を及ぼす場所を把握しているか。

産建 台風による倒木は風の向きや強さにより特定は困難。市や県、電力会社や電話会社も日頃から支障となる樹木は伐採している。台風通過後には職員が見回り、倒木や飛来物は早急に対応している。

20歳から39歳の女性の一般健診の助成について

問 助成制度を新設しては。

健福 若い女性の健康管理は出産・育児にも影響するので大切と考えている。しかし、市では現在行っている特定健診やがん検診の受診率が年々減少していることに苦慮しており、受診率の向上に重点を置きたいと考えている。そのため個別にハガキを出したり、広報紙やホームページに載せている。また、健康フェスタ等を実施し健康に対する啓蒙を図っている。

行政視察の受け入れ状況

多くの市議会や会派が本市を訪れ、小学校における働き方改革や市営バス浅口ふれあい号、空き家・土地情報バンク制度などの取り組みを視察されました。

日	議会・会派名	視察項目
8月 7日	静岡県浜松市議会 市民文教委員会	鴨方東小学校における 教員の働き方改革について
10月 8日	愛知県清須市議会 福祉常任委員会	市民課の窓口延長と証明書のコンビニ交付 就学前児童に対する外国語活動について
10月16日	福岡県田川市議会 孔志会	市営バス浅口ふれあい号について
10月17日	福岡県飯塚市議会 経済建設委員会	空き家・土地情報バンク制度について
10月29日	福井県鯖江市議会 清風会	市営バス浅口ふれあい号について
11月 1日	東京都台東区議会 区民文教委員会	鴨方東小学校における 教員の働き方改革について



東京都台東区議会 区民文教委員会



福岡県飯塚市議会 経済建設委員会

傍聴へお越しくください

(本庁舎3階)

傍聴は、議会活動にふれることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽に傍聴へお越しください。

なお、次回の3月定例会は、2月25日に開会予定です。会議の日程は、2月下旬に議会運営委員会で決定され、ホームページで公表します。



浅口市議会

検索

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音訳しています。

必要な方は社会福祉協議会へ
☎0865・44・7744

表紙写真

今回で5回目を迎えた鴨方西小学校ジャンボツリーの点灯式が12月7日に行われました。このイベントは5年に1度行われ、たくさんの方々が参加されました。ツリーの下には西幼稚園と西小学校の子どもたちが描いた絵を飾り、ライトアップしていました。
1月11日まで点灯しています。
(午後5時から午後9時)

広報特別委員会

委員長 伊澤 誠
副委員長 佐藤 正人
委員 沖原 有美
石井由紀子 藤井 立子
中西 美治



議会だよりは再生紙を使用しています

